

イタマーズ イチゴ選果機 ついに完成

パックセンターの課題を一举解決

生産現場からの声に応えて新開発

イタマーズのベルト式を採用した新しいイチゴ選果機、真のブランド化を可能にします。

果実のほとんどに選果機が導入され、生産者の労力解消に大きな力を発揮し、規模拡大や品質の向上を通じて生産者の収入の増大に大きく貢献しています。

しかしイチゴの場合、正確な形状や糖度を測定するための選果機は、システムが複雑で果実が傷ついてしまうなどのトラブルが多く、ランニングコストも高んでしまっています。イタマーズ選果機のベルト式の技術を活かし、超シンプルで傷みが無く、大量処理が可能なイチゴ選果機を開発出来たことで、イチゴ生産者やJAの皆さまの毎日続けざるを得ない状況です。出荷・管理作業の効率化、極的なJAなどは省力化に大きく貢献できパックセンターなど



傷みゼロで大量処理が可能

イチゴは傷みや構によって、イチゴを傷めすいため、迅速でることなく迅速に選果します。選果後はイチゴの向きが揃うのでパック詰めの際のイチゴ選果機は率も上がります。これらの特徴により、1秒当たりイチゴ65個(最速7.2個)を選果し、1日(7時間)で6000~7000パック分の実が転がらない機

真のブランド化に貢献

これまでの生産致が難しい状況でした。し者の個選・JAパックセンターのことで、カメラによって産地の規格を統一し、糖度も測ることができるよう、産地の信頼が増し、真のブランド化に貢献します。

新型イチゴ選果機の導入で
家族の時間が持てました

イチゴ部会会長
板橋 健一様

イチゴ農家の悩みは何と言っても、ハウスでの収穫と管理作業、自宅での選果・箱詰め、そして翌シーズンの苗の管理を同時に行わなければならないことです。ご存知のよう、イチゴは傷みも早く、置いておくことができないので、収穫に追われ、その日の夜遅くまで選果・箱詰めをするということも珍しくはありませんでした。そんな中、管理作業ができて、イチゴの品質が落ちるといふことや、何より家族の時間を

つことができないということがあり、ました。中には、あまりの忙しさに身体を壊す生産者もいました。選果機導入後は収穫と管理作業に専念できるので、イチゴの品質収量が上がりました。また、カメラ・糖度計付きの選果機を導入することで、等級規格が統一されるので市場からの信頼もさらに得られるようになつたと感じています。そして、何より家族の時間が持てるようになったということが大きく、



イタマーズ選果機シリーズ

水平移動のベルト式で青果物を傷めない

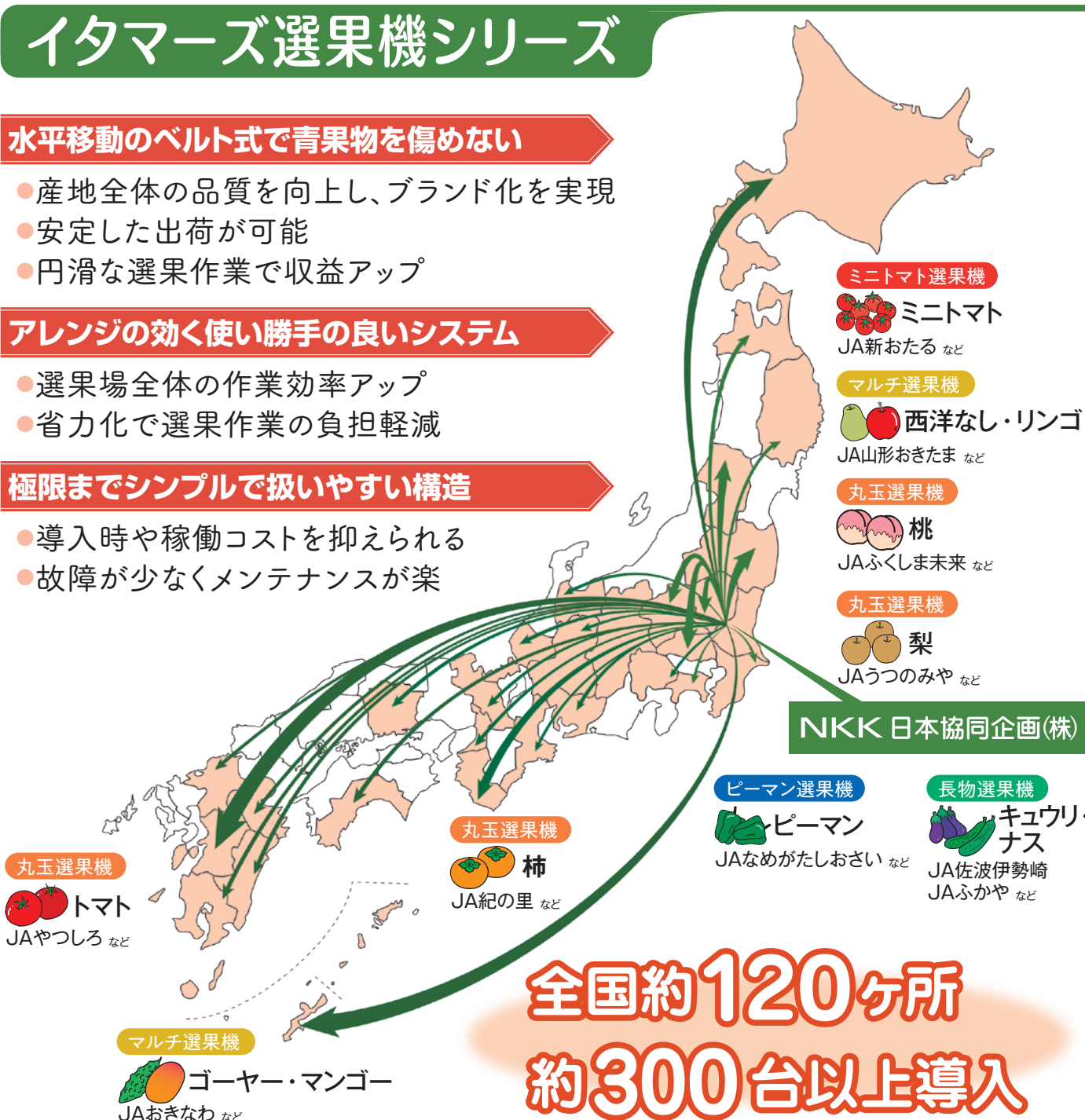
- 産地全体の品質を向上し、ブランド化を実現
- 安定した出荷が可能
- 円滑な選果作業で収益アップ

アレンジの効く使い勝手の良いシステム

- 選果場全体の作業効率アップ
- 省力化で選果作業の負担軽減

極限までシンプルで扱いやすい構造

- 導入時や稼働コストを抑えられる
- 故障が少なくメンテナンスが楽



農家だからこそ開発できた選果機

日本協同企画代表の宮田和男は、25,000坪のハウスで大玉・高糖度(9度以上)のスーパーフルーツトマトを栽培している生産者でもあるため、生産者やJAの立場になって真に産地が求める選果機を開発しています。



ご心配をおかけしました丸玉ベルト式の特許無効裁判で弊社の勝訴が確定し、特許が維持されました事をお知らせいたします。

新おたる農業協同組合

一台で7品種12銘柄の選果に対応
光センサー全量測定最先端ミニトマト選果機



代表理事組合長
森 一義様

JA新おたるのミニトマト栽培は、各市町村等の支援により栽培面積拡大に向けた農業用ハウス施設導入が計画的に行われ、栽培当初より厳しい品質・選果基準を設け消費者及び量販店等のニーズを確認しながら生産努力を続け、北海道産ミニトマトのトップブランド産地として牽引しています。

しかし、ミニトマト栽培は定植、管理、収穫、選別作業が全て手作業で行われ、機械化でのコスト削減に向けた対応は非常に難しく、また品種構成も色、形状など多品種栽培へと大きく変動しています。

選果機導入前は、出荷されるミニトマトの殆どが生産者による個別選果で、それに係るコスト(労働力不足・人件費)が大きな課題となり、栽培規模拡大により個別選果作業が深夜におよぶ状況となっていました。

イタマーズ選果機導入後は、中玉、ミニトマト丸玉、ミニマトロケット玉の7品種12銘柄の選果基準に基づき、最先端の内外部センサーにて全玉測定しています。重量測定、糖度測定、軟果判定、全体色測定、外観障害判定、へた測定等に対応し、等級・規格判別できる機能を備えた全国でも類のない選果機を利用することで、規模拡大やブランドイメージの更なる向上を図ります。JAと生産者が一体となり、販売額50億円を目指して取り組んでいます。

